

禅学関係雑誌論文目録 (2010年)

著者	論 題	誌 名	巻(号)	発行 月
〔思想〕				
芦名 定道	日本的靈性とキリスト教—キリスト教土着化論との連関で(シンポジウム鈴木大拙『日本的靈性』の現代的意義)	北陸宗教文化	24	3
東 絶海	提唱「今」に生きる(その2)	禅	34	
天 野 文 雄	「一切の事(コト)」と「一切の事(ジ)」—一世阿弥と禅の出会い、「問答条々」「花修」「別紙口伝」の改訂など(特集 伊藤正義先生 追悼)	神戸女子大学古典 芸能研究センター 紀要	4	3
荒 井 魏	現代文明における「アジア思想」再評価の糸口としての禅僧良寛の思想序説	文化社会学研究	2	7
井 本 光 蓮	日々に新たなり「生きること」と「死ぬこと」	禅	33	
池 田 久 代	ティク・ナット・ハン(釈一行)と地球仏教のゆくえ	禅文化	219	
江 溯 甚 深	数息観の導入と反省(特集 ころの教育)	禅	33	
大 熊 玄	日本的靈性と西田哲学(シンポジウム 鈴木大拙『日本的靈性』の現代的意義)	北陸宗教文化	24	3
太 田 裕 信	瞬間と歴史: 西田幾多郎の時間論・永遠の今の自己限定	日本の哲学	12	12
岡 廣 二	西田哲学と現象学: 宗教と哲学の間	宗教研究	84(4)	3
加 藤 基 樹	中世「三禅定」覚書—三禅定研究のゆくえ	研究紀要	18	3
笠 倉 玉 溪	数息観と禅(特集 ころの教育)	禅	33	
形 山 睡 峰	禅の教える発想の転換—今日只今を尽くしてゆく(特集 仏教が教える発想の転換—見方が変わると人生も変わる)	大法輪	78(5)	5

片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(7) 不浄の観察	大法輪	78(1)	1
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(8) 四大の観察	大法輪	78(2)	2
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(9)	大法輪	78(3)	3
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(10) 感受を知る	大法輪	78(4)	4
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(11) 心を知る	大法輪	78(5)	5
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(12) 法を觀る	大法輪	78(6)	6
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(13) 法を觀るー五蘊	大法輪	78(7)	7
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(14) 法を觀るー十二处	大法輪	78(8)	8
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(15) 法を觀るー七覚支	大法輪	78(9)	9
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(16) 法を觀るー四諦	大法輪	78(10)	10
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(17) 法を觀るー四諦 (1) 苦諦	大法輪	78(11)	11
片山 一 良	パーリ仏典にブツダの禪定を学ぶー『大念処経』を読む(18) 法を觀る：四諦 (2) 集諦	大法輪	78(12)	12
金山 秋 男	「色空不二」についての一考察	明治大学教養論集	460	1
古賀 英 彦	インド仏教の仏性論ー宝性論研究ノート	禪文化研究所紀要	31	3

小林 圓 照	善財童子の求道ものがたり (21) 妙光城の慈王マハーブ ラバー正法による統治と安穩 一菩薩道五十三次 江尻の宿 駅	禅文化	219	
小林 圓 照	善財童子の求道ものがたり (22) 静寂の夜に満天の星を 観るアチャラー信女一菩薩道 五十三次 府中の宿駅	禅文化	221	
小林 圓 照	善財童子の求道ものがたり (23) 至る所に到って利益を もたらす究極の遊行者サル ヴァガーミン (遍行外道) 一 菩薩道五十三次 鞠子の宿駅	禅文化	222	
小林 邦 夫	ゲーテの『ファウスト』にお ける仏教思想	慶応義塾大学日吉 紀要 ドイツ語学・ 文学	47	
佐久間 賢 祐	中日文化交流の歴史と禅の思 想 (2)	苫小牧駒澤大学紀 要	23	3
櫻 井 宣 明	『入善提行論』第8 禅定波羅 蜜童における慈悲の苦につい て	日本西蔵學會々報	57	7
清 水 守 拙	鈴木大拙の思想に於ける逆説 と言葉	宗教研究	84(4)	3
島 尾 新	「和」「漢」の文化探訪 (19) 禅僧たちの「共有志向」	茶道の研究	56(10)	10
嶋 本 浩 子	鈴木大拙の大悲	宗教研究	84(4)	3
末 村 正 代	「如」に関する一考察—鈴木 大拙を手がかりとして	関西大学哲学	29	3
末 村 正 代	鈴木大拙における「如」の理 解：禅と真宗	比較思想研究	38	
杉 本 耕 一	道元の「行」と田辺元の「行 為」	倫理学年報	60	
杉 本 耕 一	道元解釈から見た西谷啓治の 禅哲学	宗教研究	84(4)	3
杉 本 耕 一	鈴木大拙「靈性」再考—道元 の「禅宗」批判を手引きとし て (シンポジウム 鈴木大拙 『日本的靈性』の現代的意義)	北陸宗教文化	24	3
田 邊 正 彰	鈴木大拙の科学解義—我々の 時代の道標	金沢学院大学紀要 文学・美術・社会 学編	9	3
竹 林 史 博	正信論争考 (8) 今成覚禅師 の輪廻論	曹洞宗総合研究セ ンター学術大会紀 要	12	

30 『禪學研究』第94號, 2016年3月

中 島 志 郎	「空の弁証法」とは何であったか	禪學研究	89	2
新 田 智 通	日本的靈性と真宗（シンポジウム 鈴木大拙『日本的靈性』の現代的意義）	北陸宗教文化	24	3
蓮 沼 直 應	鈴木大拙における禪と浄土教—「浄土系思想論」の解釈を中心に	倫理学	27	
林 好 雄	教育と友愛（上）：ハイデガー、道元、デリダ	駿河台大学論叢	43	
堀 井 妙 泉	日々に新たなり 今を生きる	禪	34	
前 川 亨	美と修養—鈴木大拙とルース＝ベネディクトの接点を求めて	専修人文論集	88	3
松 岡 俊 平	日本近代思想と親鸞—鈴木大拙の浄土系思想論	仏教文化	20	3
村 山 保 史	鈴木大拙の「大地」概念	宗教研究	84(4)	3
森 哲 郎	京都学派の「宗教／哲学」—禪の「十牛図」から見た種々の「場所」論	宗教哲学研究	28	
山 下 善 明	ハイデガーから道元へ：同一性の概念を橋として	明星大学研究紀要：人文学部・日本文化学科	19	3
山 折 哲 雄	現代の往生試論（その6）惚け往生 良寛と親鸞	At プラス：思想と活動	7	2
和 田 真 二	横川顕正における「禪と念仏」の問題	宗教研究	84(4)	3
	比較思想研究の動向 頼住光子『道元思想：大乘仏教の真髓を読み解く』	比較思想研究	38	
〔中 国〕				
浅 山 佳 郎 大 瀧 康 秀	羅山隨筆抄訓釈稿（4）	漢文学解釈と研究	12	9
伊 吹 敦	「東山法門」の人々の傳記について（下）	東洋学論叢	36	3
伊 吹 敦	宋の南遷と禪（下之下）要説・中国禅思想史（28）	禅文化	219	
伊 吹 敦	南宋・金の衰亡と禪（上）要説・中国禅思想史（29）	禅文化	220	
伊 吹 敦	南宋・金の衰亡と禪（中）要説・中国禅思想史（30）	禅文化	221	

伊 吹 敦	南宋・金の衰亡と禅 (下之上) 要説・中国禅思想史 (31)	禅文化	222	
伊 吹 敦	神秀の受戒をめぐる	禅文化研究所紀要	31	3
石 野 幹 昌	馬祖道一の末後説法—《碧巖 録》第三則の考察を通して	名古屋大學中國哲 學論集	10	
内 田 誠 一	王維の在家信仰—維摩經を 中心に—	中國詩文論叢	5	6
小 川 隆	禅宗語録入門読本 (10) 六祖 の物語 (4)	禅文化	219	
小 川 隆	禅宗語録入門読本 (11) 六祖 と南岳懷讓	禅文化	220	
小 川 隆	禅宗語録入門読本 (12) 南岳 と馬祖	禅文化	221	
小 川 隆	禅宗語録入門読本 (13) 六祖 と青原行思	禅文化	222	
大野 榮 人 武 藤 明 範	『次第禅門』の研究 (10)	禅研究所紀要	40	
加 藤 弘 孝	『念仏三昧宝王論』の撰述年 代：飛錫の事跡に関連して	佛敎大学大学院紀 要、文学研究科篇	39	3
加 藤 高 敏	南岳慧思における『華嚴經』 思想の受容	東海仏敎	56	3
加 藤 高 敏	慧思における禅定実践の一考 察	曹洞宗研究員研究 紀要	41	3
蔭 木 英 雄	『景德伝灯録』ものがたり (上)	大法輪	78(11)	11
蔭 木 英 雄	『景德伝灯録』ものがたり (中)	大法輪	78(12)	12
金 子 奈 央	『勅修百丈清規』における唱 衣法：遺品の動きを中心に	宗教研究	84(4)	3
現銀谷史明 [訳] ngogbloldanshesrab GontaNgawangWoesung	ゴク・ロデンシューラブの般 若心経註について—試訳・ Romanized transcription text [含 チベット語文]	東洋学研究	48	
古 賀 英 彦	動中有静論考—肇論と中国仏 敎 (序)	禅學研究	89	2
小早川 浩 大	『雲巖宝鏡三昧』の考察—そ の註釈の成立を中心に	宗学研究紀要	24	3
小 林 圓 照	敦煌写本<悉曇章>類の特 異性：『禅門悉談章』のテキ スト研究	印度學佛敎學研究	59(2)	3
洪 柳 修 平 柳 幹 康 [訳]	馬祖禅法がもつ実践上の特色 とその影響について	東アジア仏敎研究	9	5

佐藤悦成 [編]	宏智禪師頌古百則の研究 (1)	禪研究所紀要	40	
佐野公治 [訳]	『景德伝灯録』(巻四) 訳注 (承前) [含 中国語文]	名古屋大学中国哲学論集	10	
椎名 宏 雄	『緇門警訓』の文獻史的考察	印度學佛教學研究	59(2)	3
椎名 宏 雄	『龍牙和尚偈頌』の諸本 (曹洞宗総合研究センター 学術大会紀要 (第12回))	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
白川 邦 興 野口 善敬 [訳]	雲棲 [衣偏+朱] 宏『正訛集』訳注 (上)	臨濟宗妙心寺派教学研究紀要	9	5
末木 文美士 魚川祐司 [訳] 鈴木 大 拙	唐宋禪宗史	財団法人松ヶ岡文庫研究年報	25	
千 田 たくま	法如派は神秀を法如の弟子であると主張したか	禪學研究	89	2
禪文化研究所 唐代語録研究班	『祖堂集』巻七雪峯和尚章譯注 (上)	禪文化研究所紀要	31	3
田 中 良 昭 程 正	敦煌禪宗文獻分類目録 (2) 語録類 (3)	駒澤大学禪研究所年報	23	12
田 中 良 昭 程 正	敦煌禪宗文獻分類目録 (2) 語録類 (4) 六祖壇經	駒澤大学仏教学部論集	42	10
高 橋 秀 榮	慧可断臂の故事をめぐって	財団法人松ヶ岡文庫研究年報	25	
塚 本 磨 充	皇帝の文物と北宋初期の開封 (上) 啓聖禪院、大相国寺、宮廷をめぐる文物とその意味について	美術研究	404	8
常 盤 義 伸	南泉の異類中行と楞伽經の兎角牛角	財団法人松ヶ岡文庫研究年報	25	
常 盤 義 伸	楞伽經が仏説として引用する世親造唯識三十頌の二偈	禪文化研究所紀要	31	3
中 西 久 味	中国国家図書館蔵『大慧普覚禪師年譜』についての覚え書き	人文科学研究	129	11
永井 政 之 程山 本 元 山吉 田 香 角田 隆 五十嵐 苗 真 嗣 郎	『宋会要』道积部訓註 (6)	駒澤大学仏教学部論集	42	
西 脇 常 記	トルファン漢語文書と大藏經	禪研究所紀要	40	
野 口 善 敬	明末清初における天童寺の住持について—密雲円悟の後継をめぐって	禪學研究	89	2

Franco Eli 師 茂樹 [訳]	玄奘による観念論 (vijñaptimātrata) の証明 [含 訳者解題]	花園大学文学部研 究紀要	43	
本多道隆 [訳]	『五燈会元』「釈迦牟尼仏」章 を読む (3) [含 中国語文]	花園大学国際禅学 研究所論叢	6	3
松ヶ岡文庫禅籍 目録研究班	松ヶ岡文庫所蔵の禅籍につい て (3) 中国禅籍とその註積 書を中心に	財団法人松ヶ岡文 庫研究年報	25	
松 岡 由香子	恵能と仏性	禅文化研究所紀要	31	3
武 藤 明 範	『梁高僧伝』にみられる火葬 の一考察	愛知学院大学教養 部紀要	58(4)	
森 宏 之	明・太祖と成祖の仏教観	花園大学国際禅学 研究所論叢	6	3
森 宏 之	明・成祖の仏教政策と道衍 (姚広孝) 一明代初期思想史 の一動向	臨済宗妙心寺派教 学研究紀要	9	5
柳 幹 康	禅者の心に世界はどう映るの かー初期禅宗における鏡の譬 喩	東アジア仏教研究	9	5
柳 幹 康	禅者の心に世界はどう映るの かー初期禅宗における鏡の譬 喩、『楞伽経』と『二入四 行論』	インド哲学仏教学 研究	8	3
山 田 無 文	碧巖録提唱 (14) 第三十五則 文殊前三三	禅文化	219	
山 田 無 文	碧巖録提唱 (15) 第三十六則 長沙逐落花回	禅文化	220	
山 田 無 文	碧巖録提唱 (16) 第三十七則 盤山三界無法	禅文化	222	
李 建 華	聖域巡礼 (23) 私の目から見 るチベット (第4部) 青蔵鉄 道を行く (2)	禅文化	220	
李 建 華	聖域巡礼 (24) 私の目から見 るチベット (第4部) 青蔵鉄 道を行く (3)	禅文化	221	
李 陽 浩	北魏洛陽永寧寺南門の上部構 造についての復元的考察 (東 洋: 中国 (1) 建築歴史・意 匠) 学術講演梗概集, F-2	建築歴史・意匠		7
Tran Thuy Khanh	鳩摩羅什訳の禅観経典が『次 第禅門』に及ぼした影響につ いてー「五縁」「繫縁止」「五 門禅」を中心として	東海仏教	56	3

渡 辺 章 悟	般若經の成立過程：智の展開 を中心として（経典とは何か (2) 経典の成立と展開受容）	日本仏教学会年報	77	
〔韓 国〕				
韓 普光 (泰植)	朝鮮 靜觀一禪の淨土觀につ いて	印度學佛教學研究	59(2)	3
Shore Jeff	Great Doubt: getting stuck & breaking through the real Koan	禪學研究	89	2
楊 婷 婷 Tingting Yang	高麗初雕本『四分比丘尼羯磨』 に関する試論	仙石山仏教学論集	6	5
〔日 本〕				
相 澤 秀 生	天文—永祿年間期越後におけ る使僧としての禪僧	宗学研究紀要	24	3
秋 月 龍 珉	道元「只管打坐」で拓いた 「純一なる仏法」の道（禪的 シンプルライフ—名僧に学 ぶ）	プレジデント	49(34)	10
朝 倉 和	「薔薇」発掘—五山文学素材 考	国語と国文学	88(4)	4
朝 倉 和	五山文学版『百人一首』と 『花上集』の基礎的研究—伝 本とその周辺（特集 五山文 学）	文学	12(5)	9
朝 倉 尚	喝食と禪林聯句—宛人・雲英 宗悦の艶詞理解をめぐって	国語国文	80(9)	9
朝 倉 尚	禪林における艶詞文芸をめ ぐって—研究の現状と現存作 品集（群）	中世文学	56	
浅 見 龍 介	禪宗寺院の彫像にみる中国風 の受容と展開（古代中世日本 の内なる「禪」）	アジア遊学	142	5
荒 木 浩	『仏法大明録』と『真心要決』 —『沙石集』『徒然草』の禪 宗的環境をめぐって（古代中 世日本の内なる「禪」）	アジア遊学	142	5
安 藤 嘉 則	永平広録に親しむ (13)	大法輪	78(1)	1
安 藤 嘉 則	永平広録に親しむ (14)	大法輪	78(2)	2
安 藤 嘉 則	永平広録に親しむ (15)	大法輪	78(3)	3
安 藤 嘉 則	永平広録に親しむ (16)	大法輪	78(4)	4
安 藤 嘉 則	永平広録に親しむ (17)	大法輪	78(5)	5

安藤嘉則	永平広録に親しむ (18)	大法輪	78(6)	6
安藤嘉則	永平広録に親しむ (19)	大法輪	78(7)	7
安藤嘉則	永平広録に親しむ (20)	大法輪	78(8)	8
安藤嘉則	永平広録に親しむ (21)	大法輪	78(9)	9
五十嵐良探	道元禅師とマイスター・エックハルト (その5) 何故なし	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要		12
伊藤正義	鎌倉を護る高僧と龍神 (新年特集 史跡・景観の保存と活用)	日本歴史	752	1
伊藤秀真	宝慶寺末寺旧蹟佐開白藏庵	禅研究所紀要		40
伊藤良久	住持制度より見る曹洞宗教団史 (序)	曹洞宗研究員研究紀要		41
飯塚大展	『蒲室疏抄』研究序説 (4) 史料篇 (4) 京都府立総合資料館所蔵『蒲?』(其4)	駒澤大学禅研究所年報	23	12
飯塚大展	林下曹洞宗における相伝史料研究序説 (5): 永光寺関係史料編 (上)	駒澤大学仏教学部論集		42
飯塚大早 海老澤苗 佐藤俊晃	『江湖風月集略註』研究 (4)	駒澤大学禅研究所年報	23	12
池田正男	越前府中龍門寺の草創について一付 妙法寺の草創期の仏源派の展開	若越郷土研究	56(1)	8
池田魯参	『坐禅用心記』撰述の意義	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要		12
石井修道	道元の霊夢の中での大梅法常との出会いと修証観	駒澤大学仏教学部論集		42
石井義長	『正法眼蔵』「現成公案」の説示について	印度學佛教學研究	59(2)	3
石井義長	『正法眼蔵』「現成公案」考	駒澤大学禅研究所年報	23	12
石原成明	道元禅師の古仏観 (1) 雪峰義存の説示評価より	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要		12
石原成明	道元禅師の古仏観 (2) 玄沙師備の説示評価より	宗学研究紀要	24	3
石渡吉彦	河州の黄檗派廃絶寺院について	黄檗文華	131	

市川 忠夫	良寛の根本的思想と信仰：孔子の「仁」の精神と曹洞禪の世界	学校法人昌賢学園論集	10	
市村 承乗	道元禪師の言語観(2) 言語使用における論理的矛盾性の超克—正法眼蔵有時の巻に参照して	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
岩井 貴生	『夢中問答』にみる夢窓疎石の教禪一致論	佛教経済研究	40	5
岩山 泰三	引き裂かれた臥遊世界——休八景詩素描(特集 五山文学)	文学	12(5)	9
岩橋 春樹	總持寺の文化—所蔵文化財の諸相	鶴見大学仏教文化研究所紀要	16	3
上田 良穂	良寛の詩「永平録を読む」をめぐって	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
内山 純子	鉄眼版大藏經の出版とその利用	黄檗文華	131	
海老名 尚	花園院の行道に関する一考察	臨済宗妙心寺派教学研究紀要	9	5
荏開津 通彦	牧溪の尊重(古代中世日本の内なる「禪」)	アジア遊学	142	5
榎本 涉	松ヶ岡文庫所蔵『扶桑禪林諸祖伝』について	財団法人松ヶ岡文庫研究年報	25	
榎本 涉	雲南の日本僧、その後(古代中世日本の内なる「禪」)	アジア遊学	142	5
Mercuri Osvaldo	夢窓疎石と宗峰妙超の方便思想の比較—『西山夜話』と『祥雲夜話』を中心に	禪文化研究所紀要	31	3
小野 澤 眞	善光寺信仰の展開(1) 中世勸進聖と ^三 分身 ^三 の研究を中心として	史迹と美術	81(4)	5
小野 澤 眞	善光寺信仰の展開(2) 中世勸進聖と ^三 分身 ^三 の研究を中心として	史迹と美術	81(5)	6
小野 澤 眞	善光寺信仰の展開(3) 中世勸進聖と ^三 分身 ^三 の研究を中心として	史迹と美術	81(7)	8
尾崎 正善	翻刻・京都大学文学部図書館蔵『東福寺清規』(1)	鶴見大学仏教文化研究所紀要	16	3
織田 顕行	清拙正澄ゆかりの摩利支天像をめぐって(古代中世日本の内なる「禪」)	アジア遊学	142	5
大槻 幹郎	隠元禪師語録について(4)	黄檗文華	131	

大野公賀	黄檗山萬福寺所藏『華嚴經疏論纂要』と、戦時下の日中文化交流	黄檗文華	131	
太田亨	五山文学概説(古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
太田亨	五山版『新刊五百家註音辯唐柳先生文集』について—五山版の再検討をめぐって(特集五山文学)	文学	12(5)	9
太田亨	日本中世禅林における柳宗元受容:後期の場合	愛媛大学教育学部紀要	58	10
加藤正賢	曹洞宗における『羅漢講式』の式次第と成立	曹洞宗研究員研究紀要	41	
笠井哲	『儀理之評判』における沢庵『不動智』への批判について	印度學佛教學研究	60(1)	12
形山睡峰	白隠禅師坐禅和讃(特集 葬儀・法事の《お経》入門)	大法輪	78(12)	12
川口高風	名古屋の寺院に関する木版資料について(7)	愛知学院大学教養部紀要	59(1)	
川口高風	明治期以降曹洞宗人物誌(4)	愛知学院大学教養部紀要	58(4)	
川口高風	靈鷲院の歴住の略伝(上)	禅研究所紀要	40	
川本慎自	江西龍派の農業知識(古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
河本祖舟	日本文化と禅 耕雲庵老師親交の碧雲居先生(1)	禅	34	
河村康仁	『正法眼蔵』に観る菩提心の一考察(10) 得法と面授との関連性	宗学研究紀要	24	3
木村文輝	静岡県中・東部地方における曹洞宗の廃絶・転宗寺院一覧	禅研究所紀要	40	
木村文輝	静岡県中・東部地方における曹洞宗寺院の歴住世代(8)	愛知学院大学教養部紀要	58(4)	
樹下文隆	室町後期における禅林の嗜好と謡曲(古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
樹下文隆	能く龍虎の背景—禅林の周易受容と神仙趣味(特集 五山文学)	文学	12(5)	9
北嶋藤郷	大愚良寛から會津八一へ	敬和学園大学研究紀要	20	
清藤久嗣	『正法眼蔵』「坐禅箴」巻の考察(5) 葉山非思量話について	宗学研究紀要	24	3

清藤久嗣	道元禪師の坐禪觀(6) 薬山 非思量話について	曹洞宗総合研究セ ンター学術大会紀 要	12	
桐田清秀〔訳〕 鈴木大拙	D. T. Suzuki's English diaries (7) 1936 to 1938	財団法人松ヶ岡文 庫研究年報	25	
金文京	中巖円月の中国体験—科挙と の關係を中心として(特集 五山文学)	文学	12(5)	9
熊倉功夫	東山と茶の湯の歴史(2) 書 院台子の茶と足利義政	同仁	2(3)	2
熊倉功夫	東山と茶の湯の歴史(3) 同 仁斎は茶室の祖か	同仁	2(4)	9
桑原嵯和 川金清淑	安勝寺調査報告書	ビエネス	17	3
小阪大	白山曼荼羅図からみた加賀禪 定道(白山特集)	山岳修験	48	8
胡建明	蘭溪道隆禪師「法語・規則」 の墨蹟と思想	佛教經濟研究	40	5
顧願春 芳文	論禪宗文化給予枯寂之美的影 響—以五山禪僧的詩為中心展 開	言語と文化	10	3
佐々木隆	現成公案の巻における麻浴山 宝徹禪師の問答について	曹洞宗総合研究セ ンター学術大会紀 要	12	
佐藤秀孝	月泉良印の伝記史料:『二代 月泉和尚行状』の翻刻と訳註	駒澤大学仏教学部 論集	42	
佐藤秀孝	阿育王山の妙智禪師從廓につ いて:平安末期の日本仏教界 との関わりを踏まえて	駒澤大学禪研究所 年報	23	12
佐藤英樹	越後種月寺藏『南英謙宗語録』 の訓註(1)	曹洞宗研究員研究 紀要	41	
斉藤雄致	大愚良寛の宣布とその体験	曹洞宗総合研究セ ンター学術大会紀 要	12	
島尾新	室町時代の画賛について— 「禅林画賛」と「文人画賛」 の關係から(特集 五山文学)	文学	12(5)	9
島住中 尾吉本 朋彦大	座談会 五山文学研究の新段 階(特集 五山文学)	文学	12(5)	9
下室覚道	瑩山禪師の光明觀(上)	文化財学雑誌	7	3

下 條 正	登山紹瑾禅師の坐禅観一『坐禅用心記』を中心として	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
下 田 祐 輔	良寛詩における「衣内宝」について—その緒説	徳島文理大学文学論叢	28	3
徐 興 慶	日中文化交流の伝播と影響—徳川初期の独立禅師を中心に	お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター研究年報	7	3
白 田 劫 石	提唱 槐安国語鈔講話 (13) 頌古 第十則 古仏露柱	禅	33	
白 田 劫 石	提唱 槐安国語鈔講話 (14) 頌古 第十一則 汝名什麼	禅	34	
菅 原 昭 英	日本の禅宗にとっての中国四川省 (古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
菅 原 昭 英	歴史の中からの道元禅師 (特集 聖と俗)	日本文化研究	9	3
菅 原 研 州	『観無量寿経』「三福」と道元禅師成仏論について	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
菅 野 覚 明	『眼蔵』をよむ 第三部「摩訶般若波羅蜜」巻 (第92回) 修行の要件	本	36(1)	1
菅 野 覚 明	『眼蔵』をよむ 第三部「摩訶般若波羅蜜」巻 (第94回) 般若の音色	本	36(3)	3
菅 野 覚 明	『眼蔵』をよむ 第三部「摩訶般若波羅蜜」巻 (第96回) 仏とは何か	本	36(5)	5
菅 野 覚 明	『眼蔵』をよむ 第四部「現成公案」巻 (第98回) 公案を現成させよ	本	36(7)	7
菅 野 覚 明	『眼蔵』をよむ 第四部「現成公案」巻 (第100回) 修行の前と後	本	36(9)	9
菅 野 覚 明	『眼蔵』をよむ 第四部「現成公案」巻 (第102回) 迷いにおける悟り	本	36(11)	11
杉 哲	西尾実と道元 (IX)	熊本大学教育学部紀要. 人文科学	60	12
杉 尾 玄 有	万葉集と日本文化史上の道元 仏法—人麻呂と《有時》《道得》等	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	

鈴木智大	相国寺普広院における僧堂の平面構成と機能 (日本:社寺(1) 建築歴史・意匠) 学術講演梗概集, F-2	建築歴史・意匠 2011		7
住吉朋彦	高峰東[シュン]の学績(特集 五山文学)	文学	12(5)	9
清野宏道	「阿羅漢」巻における「法華経」引用の意図	曹洞宗研究員研究紀要	41	
清野宏道	「正法眼蔵」「仏教」巻に見られる「法華経」並びに天台教学の受容:特に九分教・十二分教の構成について	印度學佛教學研究	60(1)	12
清野宏道	道元禪師と中古天台本覚法門:中国天台教学を通路として	駒澤大学仏教学部論集	42	10
関一敏	「東国の学風」について—鈴木大拙と柳田國男	宗教研究	84(4)	3
千宗屋	原点から源流へ—二〇一〇年慈照寺国際交流プログラム「茶花香」より	同仁	2(3)	2
曹洞宗総合研究センター 宗学研究部門	共同研究「永平元禪師清規」「知事清規」の出典研究(中)	宗学研究紀要	24	3
田中史生	唐僧義空の来日(古代中世日本の内なる「禪」)	アジア遊学	142	5
田中実マルコス	黄檗獨湛の「勸修作福念仏図説」について	佛教大学大学院紀要・文学研究科篇	39	3
竹貫元勝	禪僧の略歴 一休宗純	淡交	65(1)	1
竹貫元勝	禪僧の略歴 春浦宗熙	淡交	65(2)	2
竹貫元勝	禪僧の略歴 古嶽宗亘	淡交	65(3)	3
竹貫元勝	禪僧の略歴 春屋宗園	淡交	65(4)	4
竹貫元勝	禪僧の略歴 古溪宗陳	淡交	65(5)	5
竹貫元勝	禪僧の略歴 澤庵宗彭	淡交	65(6)	6
竹貫元勝	禪僧の略歴 清巖宋渭	淡交	65(7)	7
竹貫元勝	禪僧の略歴 玉室宗珀/玉舟宗〔王+番〕	淡交	65(8)	8
竹貫元勝	禪僧の略歴 白隠慧鶴	淡交	65(9)	9
竹貫元勝	禪僧の略歴 伝心宗的	淡交	65(10)	10
竹貫元勝	禪僧の略歴 十八世紀の大徳寺僧	淡交	65(11)	11

竹 貫 元 勝	禅僧の略歴 牧宗宗寿 / 円山要宗	淡交	65(12)	12
竹 貫 元 勝	臨済宗の伝灯と文化 (古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
館 隆 志	蘭溪道隆の遺偈について	印度學佛教學研究	60(1)	12
館 隆 志	蘭溪道隆の靈骨器と遺偈	駒澤大学禅研究所年報	23	12
館 隆 志	鎌倉期の禅宗の坐禅について (古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
館 隆 志	鎌倉期の禅林における面壁坐禅	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
龍 谷 孝 道	中世曹洞宗における機関について: 宏智八句を中心として	印度學佛教學研究	60(1)	12
龍 谷 孝 道	浄眼寺所蔵『証道歌抄』について—中世曹洞宗における学人接化	曹洞宗研究員研究紀要	41	3
圭 室 文 雄	曹洞宗の近世的寺院の成立	明治大学教養論集	460	1
千 坂 英 俊	白隠墨跡和歌考 (3) 白隠慧鶴と夢窓疎石	花園大学国際禅学研究所論叢	6	3
千 葉 正	円珍における禅宗理解	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
千 葉 正	杲宝説『伝宝記』と『開心抄』—杲宝の禅宗批判の教学的背景	印度學佛教學研究	59(2)	3
張 新 朋 (訳) 福 田 忠 之	日本に現存する中国宋元代以降禅僧の頂相に関する調査と研究	日本思想文化研究	4(1)	1
角 田 泰 隆	道元禅師研究諸論再考: 特に本覚思想批判と思想的变化と宗祖無謬説を中心に	駒澤大学仏教学部論集	42	10
徳 野 崇 行	清規から見た禅宗における追善供養の変遷	宗教研究	84(4)	3
中世古 祥 道	道元禅師の古伝上から栄西との相見問題をさぐる	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
中 尾 良 信	比叡山と日本禅宗	叡山学院研究紀要	33	3
中 尾 良 信	達磨宗の展開と禅籍開版 (古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
中 本 大	菊隠慧叢について—「名庸集」研究序説 (特集 五山文学)	文学	12(5)	9

永井賢隆	『宝慶記』における如浄禪師の『大智度論』の依用について	曹洞宗総合研究センター-学術大会紀要	12	
永井賢隆	道元禪師と『大智度論』	印度學佛教學研究	60(1)	12
永井賢隆	道元禪師における虚空について—風鈴頌を中心に	駒澤大学大学院仏教学研究會年報	44	4
長尾直茂	中世禪林における『新刊全相平話前漢書統集』の受容—清家文庫所蔵『漢書抄』への引用をめぐる〔含『前漢書平和統集』『漢書帝記紀抄』対照表〕	漢文學解釈と研究	12	9
新見克彦	無住道暁と痴兀大慧にみる禪理解：鎌倉時代後期における禪の特質	鳴門史學	25	
新見克彦	無住道暁における禪の意義			
西尾古鑑	泉福寺本『正法眼藏開書抄』における異筆箇所について	宗學研究紀要	24	3
西尾賢隆	中世後期の禪宗—五山派から關山派へ	臨濟宗妙心寺派教學研究紀要	9	5
西尾賢隆	中世後期の禪宗—五山派から關山派へ	臨濟宗妙心寺派教學研究紀要	9	5
西尾賢隆	虚堂智愚から南浦紹明へ（古代中世日本の内なる「禪」）	アジア遊學	142	5
西山美香	足利義満の内なる宋朝皇帝—京都相國寺と開封大相國寺（古代中世日本の内なる「禪」）	アジア遊學	142	5
西岡芳文	円覺寺の創建と密教の祈禱（古代中世日本の内なる「禪」）	アジア遊學	142	5
西村恵信	ゼミナール・禪思想の道を歩く 講読『信心銘夜塘水』（2）至道無難、唯嫌揀択	禪文化	219	
西村恵信	ゼミナール・禪思想の道を歩く 講読『信心銘夜塘水』（3）但莫憎愛、洞然明白	禪文化	220	
西村恵信	ゼミナール・禪思想の道を歩く 講読『信心銘夜塘水』（4）毫釐有差、天地懸隔。欲得現前、莫存順逆	禪文化	221	
西村恵信	ゼミナール・禪思想の道を歩く 講読『信心銘夜塘水』（5）違順相争、是為心病。不識玄旨、徒勞念靜	禪文化	222	

西村 恵信	栄西と白隠(禅的シンプルライフ一名僧に学ぶ)	プレジデント	49(34)	10
西村 恵信	白隠禪師「坐禅和讃」を読む(1) 茶と禅の出会い	茶道雑誌	75(2)	2
西村 恵信	白隠禪師「坐禅和讃」を読む(2) 白隠という人について	茶道雑誌	75(4)	4
西村 恵信	白隠禪師「坐禅和讃」を読む(3)「坐禅和讃」成立への道	茶道雑誌	75(6)	6
西村 恵信	白隠禪師「坐禅和讃」を読む(4) 衆生本来仏なり	茶道雑誌	75(8)	8
西村 恵信	白隠禪師「坐禅和讃」を読む(5) 衆生近きを知らずして遠く求むるはかなさよ	茶道雑誌	75(10)	10
西村 恵信	白隠禪師「坐禅和讃」を読む(6) 六趣輪廻の因縁は、己が愚痴の闇路なり	茶道雑誌	75(12)	12
西澤 まゆみ	道元禪師における信の考察	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要		12
西澤 まゆみ	道元禪師における懺悔と滅罪について	駒澤大学仏教学部論集	42	10
西澤 まゆみ	道元禪師における懺悔と滅罪について	駒澤大学仏教学部論集	42	
新田 匡央	禅と日本人 禅の歴史(禅的シンプルライフ)	プレジデント	49(34)	10
納富 常天	總持寺の歴史—鶴見移転を中心として(總持寺の歴史と文化)	鶴見大学仏教文化研究所紀要	16	3
納富 常天	總持寺五院の成立と展開(2)	鶴見大学仏教文化研究所紀要	16	3
能仁 晃道	愚堂中興以後の妙感寺寸考	禅文化	220	
橋本 雄	北条得宗家の禅宗信仰をめぐって—一時頼・時宗を中心に(古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
蓮沼 直應	禅における利他行の基礎づけ: 鈴木大拙の大智と大悲	求真	18	
花園天皇日記研究会	『花園天皇日記(花園院宸記)』正和二年二月記(2) 訓読と注釈	花園大学国際禅学研究所論叢	6	3
早坂 暁	新・彼の人に学ぶ(第146回) 人はいかに生きるべきか? 大愚良寛和尚(前編)	ABC	184	8

早坂 暁	新・彼の人に学ぶ(第147回) 騰々と自然のまま生きる 大 愚良寛和尚(後編)	ABC	185	9
林 観潮	明僧道者超元の帰国について	花園大学国際禅学 研究所論叢	6	3
林 観潮	隠元禅師に対する江戸幕府の 政策について	黄檗文華	132	
ひろ さちや	一休:「風狂」に生きた「孤 高」の禅者(禪的シンプラ イフ一名僧に学ぶ)	プレジデント	49(34)	10
日高 愛子	『古今栄雅抄』の一条兼良説 —「一禅御説」【柿本備材抄】 との関連から	語文研究	111	6
廣瀬 良文	總光寺所蔵『当寺開山禅師行 状』の訓註一月菴良圓禅師伝 にみる曹洞宗寺院縁起	曹洞宗研究員研究 紀要	41	3
廣瀬 良文	總光寺所蔵『当寺開山禅師行 状』の訓註一月菴良圓禅師伝 にみる曹洞宗寺院縁起	曹洞宗研究員研究 紀要	41	
廣瀬 良文	開山伝と靈宝・寺域・山林一 月菴良圓の伝記史料『当寺開 山禅師行状』をめぐって	駒澤大学大学院仏 教学研究会年報	44	4
福田 道宏	京都大学附属図書館所蔵「平 松文庫」儲君御受禅御用記録 —翻刻と解題	大和文華	123	4
藤原 東演	臨濟宗一「本来の自己」に目 覚めよう(特集 日本仏教各 宗の疑問に答える)	大法輪	78(4)	4
藤田 琢司	禅僧の死に様(3) 今度ばかり は我が意に従え—大灯国師	禅文化	219	
藤田 琢司	禅僧の死に様(4) 心頭を滅 却すれば、火も自ずから涼し —快川紹喜	禅文化	220	
藤田 琢司	禅僧の死に様(5) 冷熱は生 道人の知る所に非ず—慧春尼	禅文化	221	
古瀬 珠水	『見性成仏論』と『顕密問答 鈔』の「禅門の人」の関係に ついて	仙石山佛教學論集	6	9
古瀬 珠水	金沢文庫蔵『見性成仏論』と 伝達磨大師『血脈論』:「見性」 の思想に着目して	印度學佛教學研究	59(2)	3
古瀬 珠水	金沢文庫蔵『見性成仏論』に おける『宗鏡録』の引用の意 味	印度學佛教學研究	60(1)	12

包	黎明	元代の中日文化交流：入元僧と元代文人との交流から	広島大学大学院教育学研究科紀要, 第二部 文化教育開発関連領域	60	
細	川 武 稔	等持院・真如寺と足利氏 (古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
堀	井 妙 泉	日本文化と禅 両忘庵釈宗活老師の短歌 (2) 『六道游戲集』より	禅	34	
堀	川 貴 司	『覆篋集』について一室町時代後期の注釈付き五山詩総集 (特集 五山文学)	文学	12(5)	9
堀	川 貴 司	『覆篋集』解題と翻刻	花園大学国際禅学研究所論叢	6	3
堀	本 一 繁	栄西の足跡	緑茶通信	28	3
松	村 定 男	良寛と文人	立正大学人文科学研究所年報	49	
松	田 陽 志	江戸期曹洞宗禅僧の経典・文字観：独庵玄光と天桂伝尊を中心に	日本仏教学会年報	77	
丸	川 春 潭	三昧一「茶禅一味」の基盤になるもの (特集 茶禅一味)	禅	34	
丸	川 春 潭 延 時 春 真 潭 覚	驢鞍橋講話 (第13話) 我は念起し坐禅也。我は須弥山程の大念を起さすと也	禅	33	
丸	川 春 潭 延 時 春 真 潭 覚	驢鞍橋講話 (第14話) 修行には身を使うが好き也	禅	34	
三	橋 広 夫	室町時代の朝鮮通信使申叔舟を日韓で学ぶ (日本列島と朝鮮半島の交流一実践 18)	歴史地理教育	777	7
水	上 勉	良寛の生きかた、この時代の生きかた (禅的シンプルライフ一名僧に学ぶ)	プレジデント	49(34)	10
溝	口 明 則 小 池 貴 久	円覚寺舍利殿の柱間計画法：正福寺地藏堂との関係性 (日本：生産 (3) 建築歴史・意匠)	学術講演梗概集, F-2 建築歴史・意匠 2011		7
宮	地 清 彦	『伝光録』における枯木死灰禅の用例について：中国禅思想との関連から	印度學佛教學研究	59(2)	3
宮	川 敬 之	『眼蔵』をよむ 第二部「有事」巻 (第93回) 根拠なしということ	本	36(2)	2
宮	川 敬 之	『眼蔵』をよむ 第二部「有時」巻 (第95回) 相見の理法	本	36(4)	4

46 『禪學研究』第94號, 2016年3月

宮川敬之	『眼藏』をよむ 第二部「有時」 卷(第97回)「とき」の到来	本	36(6)	6
宮川敬之	『眼藏』をよむ 第二部「有時」 卷(第99回)脱体の時即此 離此の時	本	36(8)	8
宮川敬之	『眼藏』をよむ 第五部「密語」 卷(第101回)「密語」を開 く	本	36(10)	10
宮川敬之	『眼藏』をよむ 第五部「密語」 卷(第103回)理解のエンジ ン	本	36(12)	12
宮川武治	一休—その尺八禪に寄せる心 [合一休和尚年譜]	あいち国文	5	7
宮田正勝	臨濟宗(特集 仏教から何が 学べるか) — (日本仏教各宗 「学んでほしいこと」)	大法輪	78(11)	11
向坂卓也	称名寺本にみる『覚禅抄』展 開の可能性について: 称名寺 本『覚禅抄』と『東寺講堂御 仏御舍利員数』	金沢文庫研究	327	10
村上三島	良寛: 「無欲」「自然体」を映 す自在の書(禪的シンプルラ イフ—名僧に学ぶ)	プレジデント	49(34)	10
村井章介	十年遊子は天涯に在り—明初 雲南謫居日本僧の詩交(古代 中世日本の内なる「禪」)	アジア遊学	142	5
村木敬子	和刻本「十牛図」の展開(古 代中世日本の内なる「禪」)	アジア遊学	142	5
八波浩一	仙厓交友録(1) 良寛と豪潮: 仙厓筆「牡丹画賛」、豪潮筆 「十六羅漢画賛」をめぐって	出光美術館研究紀 要	17	12
矢島忠夫	正法眼藏『諸法実相』	弘前大学教育学部 紀要	105	3
矢谷慈國	道元『正法眼藏、第三、仏性』 (現代語訳及び注、後半部分)	追手門学院大学社 会学部紀要	5	
山本兼一	利休の風景 禪について	淡交	65(10)	10
山本英男	南北朝・室町時代—厳しい乱 世をくぐりぬけた傑僧たち (名僧でたどる日本の仏教)	別冊太陽	182	5
山本英男	夢窓疎石(名僧でたどる日本 の仏教) — (南北朝・室町時 代—厳しい乱世をくぐりぬけ た傑僧たち)	別冊太陽	182	5

山本英男	画僧の系譜—禅僧画家たちの多様な試み(名僧でたどる日本の仏教)—(南北朝・室町時代—厳しい乱世をくぐりぬけた傑僧たち)	別冊太陽	182	5
山藤夏郎	詩を詠むのは誰か: 中世禅林詩学における「脱創造」という「創造」の機制	日本研究	24	3
山家浩樹	無外如大伝と千代野伝説の交流(古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
楊昆鵬	五山文学と和漢聯句(特集五山文学)	文学	12(5)	9
横内裕人	大和多武峰と宋仏教—達磨宗の受容をめぐる(古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
横山住雄	臨済宗五山派・美濃大円寺の興亡史	花園大学国際禅学研究所論叢	6	3
横田喬	白隠禅師蛭雪記(新連載・1)	大法輪	78(4)	4
吉津宜英	曹洞宗(特集 仏教から何が学べるか)—(日本仏教各宗「学んでほしいこと」)	大法輪	78(11)	11
吉田和彦	大分県杵築市所在 東光寺経塚に関する覚書	古文化談叢	65	7
吉田道興	日本文化と禅僧たち—「禅文化」の成立と展開(古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
吉田道興	高祖伝の形成と道正庵—策謀家道正庵十九世徳幽卜順	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
芳澤元	慶長期の絵画・漢詩の製作過程—前田利家夫人・芳春院の女人図(特集 五山文学)	文学	12(5)	9
Pedersen Hillary	九世紀の日本における信仰の多様性—神護寺五大虚空蔵菩薩像と五行説の関係を中心に	花園大学国際禅学研究所論叢	6	3
綿田稔	足利将軍邸の障子画賛(特集五山文学)	文学	12(5)	9
	道元(名僧でたどる日本の仏教)—(鎌倉時代—激しくぶつかる継承者と革新者たち)	別冊太陽	182	5
【その他】				
東海大光	吾が師を語る 古賀黙傳和尚と東海玄照老師	禅文化	219	

栗谷良道	曹洞宗における「寺族問題」について(続)	宗学研究紀要	24	3
伊藤紫虹	有縁千里逢	禪文化	221	
家塚智子	東山歴史逍遙(2) このごろ 都にはやるもの一花の都のつ わどもたち	同仁	2(3)	2
家塚智子	東山歴史逍遙(3) 足利義満 の登場一花の御所・七重塔・ 鳳凰	同仁	2(4)	9
板橋興宗	禪の教えとこころの支え	病院・地域精神医学	53(4)	7
出光佐千子	池大雅による光の描写と黄檗 美術: 黄檗山萬寿院蔵「書画 禪冊葉」の体験	出光美術館研究紀要	17	
岩本一	禪と健康(3)	ライフデザイン学研究	7	
宇野全 久保田永 中野智 俊隆	自死者供養の現状と課題につ いて	曹洞宗総合研究セ ンター学術大会紀 要	12	
上田月庵	第一回心の教育セミナー報告 (特集 こころの教育)	禪	33	
梅本啓 大窪健 悟之	妙心寺の避難所としての有効 性評価: 妙心寺避難所生活シ ミュレーションモデルの構築 を踏まえて	歴史都市防災論文 集	5	7
梅本啓 大窪健 悟之	妙心寺の避難所としての有効 性評価に関する研究: 妙心寺 避難所生活シミュレーション モデルの構築を踏まえて(都 市計画)	日本建築学会近畿 支部研究報告集. 計 画系	51	5
瓜生中	雑学から学ぶ仏教(24) 禪の 流れ	大法輪	78(11)	11
小川心耕	武道と禪 小川忠太郎範士『稽 古日誌』(1)	禪	34	
小田守	石州流の成立とその特色(日 本文化と禪)	禪	33	
大高下 木山浩 秀司 明進	大学院GP報告 建仁寺塔頭 両足院所蔵 絹本着色「明庵 栄西像」の蛍光X線分析法 による科学調査	文化財情報学研究	8	3
岡本重慶	「禪的森田療法」についての 研究一「集団と個」の問題を めぐって	総合社会科学的研究	3(3)	3

帯津良一	白隠禅師の『夜船閑話』と丹田呼吸法(特集 仏教の智慧で現代病を乗り越える) — (仏教の智慧で病いを治す)	大法輪	78(7)	7
笠倉玉溪	禅フロンティア日本文化研修道場 禅フロンティア報告	禅		33
角川雅樹	森田療法と「現在化」: ヘリゲルの「弓と禅」を事例として	日本森田療法学会雑誌	22(2)	10
樺島勝徳	プチうつに効く「禅セラピー」(特集 仏教の智慧で現代病を乗り越える) — (仏教の智慧で病いを治す)	大法輪	78(7)	7
樺島勝徳	和尚さんの身体講座 (29) 自家身中の妙薬 痛風を遊ぶ	禅文化		219
樺島勝徳	和尚さんの身体講座 (30) 究極の薬師流体軸運動	禅文化		220
樺島勝徳	和尚さんの身体講座 (31) 安楽坐禅法入門 (1)	禅文化		221
木下喜代男	南斎禅師と笠ヶ岳	斐太紀		
木村清孝	御移転百年に寄せて(總持寺の歴史と文化)	鶴見大学仏教文化研究所紀要	16	3
木村清孝 村富常 岩橋春樹	曹洞宗大本山總持寺御移転百年記念 平成二十二年度鶴見大学仏教文化研究所公開シンポジウム「總持寺の歴史と文化」	鶴見大学仏教文化研究所紀要	16	3
北村三子	禅と教育学: 宮坂哲文の場合	駒澤大学教育学研究論集	27	3
北泉剛史	海北友雪筆「魚籃観音・寒山拾得図」(大本山總持寺)	文化財学雑誌	7	3
北西弘	回想—花園大学 (その10)	禅文化		220
北西弘	回想—花園大学 (その9)	禅文化		219
北野大雲	長岡禅塾物語—掃除の歌	禅文化		222
桐田清秀	大谷大学時代の鈴木大拙	花園大学文学部研究紀要		43
倉倉岡永平 井尾宗紘	禅修行を取り入れた糖尿病および生活習慣病療養指導の試み (一般演題 第114回日本心身医学会関東地方会演題抄録)	心身医学	51(9)	9
児玉修	臨床僧の会・サーラ	禅文化		220

小池 龍之介	リセットする練習 (禪的シンプルライフ) — (「禪的生活」をはじめよう)	プレジデント	49(34)	10
後藤 榮山	吾が師を語る 山本玄峰老師・中川宋淵老師・鈴木宗忠老師	禪文化	223	
佐々木 真郎	禪に学ぶ	警察公論	66(4)	4
佐々木 秀憲	1950年代・アメリカ現代芸術への禪の影響について	人間幸福学研究	3(1)	2
佐伯 裕子	人ってときに墓なんです—笹井宏之の生命の歌	禪文化	220	
佐藤 妙珠	禅会だより『わび茶の研究』輪読会	禪	34	
沢井 淳弘	だれもがすぐ実践できる「日本一やさしい」指南書「瞑想」のススメ (禪的シンプルライフ—「禪的生活」をはじめよう)	プレジデント	49(34)	10
沢木 みずほ	くらしの泉 食添加物だらけのたくあんに沢庵禪師も泣いているかも	金曜日	19(39)	10
志水 一行	博物館紹介 花園大学歴史博物館 ZEN MUSEUM (古代中世日本の内なる「禪」)	アジア遊学	142	5
篠原 大雄	吾が師を語る 森本省念老師と竹田益州老師	禪文化	221	
芝田 義峰	禅会だより かがしま禅の会について	禪	33	
珠 寶	二〇一〇年 慈照寺国際交流ご報告	同仁	2(3)	2
鈴木 木	精進料理に学ぶ仏教の心、禅の心—吉村昇洋さん	栄養と料理	77(7)	7
住谷 瓜頂	望月仏教大辞典編纂に従事した柴僧・服部俊崖	黄檗文華	131	
禅文化研究所	禅文化研究所の諸活動—創立当初から現在にいたる (特集 禅文化研究所のあゆみ)	禅文化	221	
曹洞宗総合研究センター 宗学研究部門	曹洞宗関係文献目録 (18) 平成20年4月~平成21年3月	宗学研究紀要	24	3
高橋 悠介	禅竹能楽論における「一露」「一水」と胎生学	能と狂言	9	4
高橋 裕文	室町期円覚寺造営料所化と常陸国小河郷地頭・百姓の闘い:「指出」と年貢契約との関連において	茨城大学人文科学研究	3	12

高田 明和	医は仏道 (52) 不眠 (13) 坐禅は安眠の法門なり	大法輪	78(7)	7
立田 珠月	風炉先屏風 (日本文化と禅)	禅	33	
谷本 裕	武満徹《夢窓》の庭 (4) 彫刻家イサム・ノグチを巡る旅	ハルモニア	41	3
チャイルドリディア・マリア 田中 泰賢	翻訳リディア・マリア・チャイルド「仏教とローマ・カトリックの類似性」	禅研究所紀要	40	
塚田 博	博物館紹介 駒澤大学禅文化歴史博物館 (古代中世日本の内なる「禅」)	アジア遊学	142	5
辻村 上 惟雄 上 惟雄	ニッポン絵合せ (20番) 禅月様羅漢図	芸術新潮	62(11)	11
辻村 上 惟雄 上 惟雄	ニッポン絵合せ (20番) 禅月様羅漢図	芸術新潮	62(11)	11
出宮 徳尚	明禅寺合戦考	吉備地方文化研究	21	
中野 東禅	法話 チャンスをつかまえる力	大法輪	78(5)	5
仲 紘 嗣	「心身一如」の由来を道元・栄西それぞれの出典と原典から探る	心身医学	51(8)	8
新美 昌道	禅堂の茶：師走の趣向で	淡交	65(12)	12
西 静 恵	陶芸の中にあられる良寛の心一土・炎の営みと心の関わり	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
西尾 宗滴	吾が師を語る 奥大節老師	禅文化	221	
西村 恵信	「禅文化研究所」とは何か—公益法人化にむけてのアピール (特集 禅文化研究所のあゆみ)	禅文化	221	
根来 孝明	良寛の書法に関する一考察	美術科研究	29	
原田 道一	東西の禅—グローバル・ネットワーク時代における東西禅文化の交流	曹洞宗総合研究センター学術大会紀要	12	
半田 栄一	白隠の禅と現代統合医療	宗教研究	84(4)	3
半田 栄一	白隠の禅思想と「軟酥の法」	比較思想研究	38	
姫野 晴道	いのちの [手偏+主] 杖	禅文化	221	
平塚 景堂	権力と文化	禅文化	219	

平 宮 正 志	良寛に学ぶ教育者としての姿勢：愛語より初めて	文教大学教育学部紀要	45	12
福 江 充	石造物資料にみる江戸時代の三禅定（富士山・立山・白山）（白山特集）	山岳修験	48	8
藤 井 隆 英	体当たり僧侶のボランティア日記（3）まちとともに	禅文化	219	
藤 井 隆 英	体当たり僧侶のボランティア日記（4）交わりの中で	禅文化	220	
藤 原 智 美	食も修行である 永平寺の味噌汁（禪的シンプルライフ―「禪的生活」をはじめよう）	プレジデント	49(34)	10
藤 原 智 美	永平寺「一泊二日禅修行」体験ルポ（禪的シンプルライフ―「禪的生活」をはじめよう）	プレジデント	49(34)	10
淵 上 磊 山	在りし日の句友たち（2）（日本文化と禅）	禅	33	
仏 楽 学 舎	精進のころろ きょうの味 京都・天龍寺「籬月」	茶道雑誌	75(3)	3
仏 楽 学 舎	精進のころろ きょうの味 京都・大徳寺「泉仙」	茶道雑誌	75(4)	4
仏 楽 学 舎	精進のころろ きょうの味 京都・妙心寺「阿じろ」	茶道雑誌	75(6)	6
仏 楽 学 舎	精進のころろ きょうの味 京都・萬福寺 普茶料理	茶道雑誌	75(8)	8
仏 楽 学 舎	精進のころろ きょうの味 京都・一休寺（酬恩庵）	茶道雑誌	75(10)	10
仏 楽 学 舎	精進のころろ きょうの味 京都・一休寺（酬恩庵）	茶道雑誌	75(12)	12
仏 楽 学 舎	精進のころろ きょうの味 妙心寺塔頭 東林院	古文化談叢	7	7
古 川 登	福井県大飯郡おおい町岡田西安寺石造五重塔実測調査	若越郷土研究	56(1)	8
堀 祥 岳	《経蔵》再考―類型と機能	臨済宗妙心寺派教学研究紀要	9	5
堀 井 妙 泉	両忘庵釈宗活老師の短歌（1）『六道游戲集』より（日本文化と禅）	禅	33	
堀 井 無 繩	茶のころろ・禅のころろ（特集 茶禅一味）	禅	34	
前 田 専 学 武 田 浩 学	大拙英訳『教行信証』の編集を終えて	財団法人松ヶ岡文庫研究年報	25	

栢野俊明	庭園デザインの第一人者が語る「枯山水」の魅力(禅的シンブルライフー「禅的生活」をはじめよう)	プレジデント	49(34)	10
松田高志	宗教と教育と私一体験的宗教教育論	禅文化	220	
丸川春潭	21世紀・知的革命時代におけるこころの教育のあり方と方途について(特集 こころの教育)	禅	33	
三松無妙	禅会だより 小川忠太郎範士『剣道講話』輪読会について	禅	34	
三浦眞風	第2回茶禅一味の会(新潟大会)概況報告(特集 茶禅一味)	禅	34	
水野寿弥子 山淳司	南禅寺金地院八窓席の樹種識別結果	木材学会誌	57(1)	1
溝口川明 中下田一 佐藤桂 百瀬純哉	ベン・メアレア寺院の伽藍計画について(東洋:カンボジア建築歴史・意匠)	学術講演梗概集, F-2 建築歴史・意匠		7
武藤亮飛	東西靈性交流についての予備的考察	禅文化研究所紀要	31	3
山口博永	絶対無条件な世界を求めて—私が出会った太極拳と禅の世界	サトルエネルギー学会誌	16(28)	
山崎紹耕	禅心を照らす食禅一味 向嶽寺 コットウ粥	茶道雑誌	75(1)	1
山崎紹耕	禅心を照らす食禅一味 崇福寺 饅頭	茶道雑誌	75(2)	2
山本文溪	人生をやわらかくする 禅の言葉(第6回・最終回) 柳緑花紅	キャリアマネジメント		3
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ 山岡鉄舟(68)『瘦我慢の説』と鉄舟(其の2)	ベルダ	17(1)	1
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ 山岡鉄舟(69)『瘦我慢の説』と鉄舟(其の3)	ベルダ	17(2)	2
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ 山岡鉄舟(70)『瘦我慢の説』と鉄舟(其の4)	ベルダ	17(3)	3
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ 山岡鉄舟(71)『瘦我慢の説』と鉄舟(其の5)	ベルダ	17(4)	4

山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ山岡鉄舟(72)『瘦我慢の説』と鉄舟(其の6)	ベルダ	17(5)	5
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ山岡鉄舟(73)『瘦我慢の説』と鉄舟(其の7)	ベルダ	17(6)	6
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ山岡鉄舟(74)鉄舟県知事就任(其の1)	ベルダ	17(7)	7
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ山岡鉄舟(75)鉄舟県知事就任(其の2)	ベルダ	17(8)	8
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ山岡鉄舟(76)鉄舟県知事就任(其の3)	ベルダ	17(9)	9
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ山岡鉄舟(77)鉄舟県知事就任(其の4)	ベルダ	17(10)	10
山本紀久雄	命も、名も、金も要らぬ山岡鉄舟(78)鉄舟県知事就任(其の5)	ベルダ	17(11)	11
	歴史の指標 山岡鉄舟(1) 剣と禅による人間修行	明日への選択	309	10
	特集 朗読 リーディングドラマ「修禪寺物語」(岡本綺堂・作)	音声表現	9	
	禅を学んで世界を変えた!の巨人 棺を蓋いて「ステイプ・ジョブズ」の伝説	週刊新潮	56(40)	10
	いっぶく拜見	禅文化	220	
〔書評・紹介〕				
石井修道	高崎直道著作集第九巻『道元思想と日本仏教』を読む	春秋	527	4
オラーチャバ	今泉淑夫著『禅僧たちの室町時代—中世禅林ものがたり—』	史學雜誌	120(8)	8
金澤弘	死して巖根に在らば骨もまた清し—寂室元光の墨蹟二幅	禅文化	219	
川本慎自	今泉淑夫著『禅僧たちの室町時代：中世禅林ものがたり』	日本歴史	763	12
佐々木馨	大塚紀弘著『中世禅律仏教論』	日本歴史	754	3
斎藤夏来	芳澤勝弘編著『江月宗玩 欠伸稿訳注 乾』	史學雜誌	120(4)	4

菅原義勝	広瀬良弘編『禅と地域社会』	駒沢史学	76	3
ダヴァンディディエ(訳) 飯島孝良	小川隆著『神会：敦煌文献と初期の禅宗史』『語録のことは：唐代の禅』『臨濟録：禅の語録のことばと思想』	駒澤大学禅研究所年報	23	12
兵藤一夫	渡辺章悟著『金剛般若経の研究』	佛教学セミナー	94	12
藤元裕二	拾得図（寒山拾得図の対幅の内 長野県木曾郡・定勝寺蔵）	禅文化	222	
松尾剛次	大塚紀弘著『中世禅律仏教論』（山川歴史モノグラフ18）	史学雑誌	120(6)	6
美濃部仁	藤田正勝著 西田幾多郎の思索世界：純粹経験から世界認識へ	日本の哲学	12	12
宮島光志	浅見洋編『鈴木大拙と日本文化』	北陸宗教学文化	24	3
	巢松翁蔵 禅林墨蹟一海門禅恪・弘巖玄猊	禅文化	220	
	巢松翁蔵 禅林墨蹟一雲居・隠山・春叢	禅文化	219	
	巢松翁蔵 禅林墨蹟一黄檗宗	禅文化	221	
	丈山文庫蔵 禅林墨蹟 白隠と東嶺	禅文化	222	
〔講演〕				
片山一良	公開講演 禅と経の世界	駒澤大学大学院仏教学研究會年報	44	4
片山一良	講演會 無常の世界：不離叢林	禅研究所紀要	40	
黒岩卓夫	生と死の境界はあるのか—良寛と親鸞の思想に触れて	人間の発達：仙台白百合女子大学人間発達研究センター紀要	7	
玄侑宗久	京都・宗教系大学院連合公開講演「禅と諸宗教における〈わたし〉の成り立ち」	京都・宗教論叢	5	1
竹村牧男	西田の禅思想をめぐって—逆対応から平常底へ	西田哲学会年報	8	7
山部能宜	公開講演 中央アジアにおける禅観の実践について（袴谷憲昭教授退任記念號）	駒澤大学仏教学部論集	42	10